

団体名:かさでら図書館運営委員会！

# 古本市



## ■活動の内容

笠寺観音手前にある「かさでら図書館」は今年2月にオープンした、まちの居場所茶屋「かさでらのまち箱」の一角にある私設図書館。まちづくりびと講座受講生でもある団体メンバーが立ち上げ運営しています。今回は笠寺観音九万九千日の市にあわせ、図書館で「古本市」開催の様子を視察しました。

- 日時 令和5年8月9日(水)16時~21時
- 場所 かさでら図書館(南区・笠寺学区)
- 内容 古本市



## ■内容

### 夜のにぎわい↓



「気軽に本に触れられる場所、人と人・地域がつながる場所、心安らぐ居場所を作る。」そんな団体の思いがこもった、たくさんの方々と賑わうイベントでした。本棚オーナーも出店している古本市で、地域のコミュニティの場としてはもちろん、本を中心に人々の活用の場として図書館が存在している様を感じました。



参加者のみなさん



本の読み聞かせ



笠寺観音九万九千日の市にあわせ、4年ぶりに開催された「笠寺盆フェス」。笠寺駅から笠寺観音周辺一帯がお祭りモード一色の中、存在感のあるまちの居場所として「かさでらのまち箱」があります。「かさでらのまち箱」とは、セレクトショップ、和菓子店、チャレンジスペース、そして「かさでら図書館」から成る複合スペース。本が読める、借りられる、自身の蔵書をみんなに紹介できる場所として、地域の皆さんを繋いでいます。本を通じての出会いの数々が今後も大変楽しみです。